

発行所
愛徳学園同窓会
神戸・垂水

会長挨拶



会長
石井アイリーニ・トクコ
(七回生・旧姓ヤング)

先日スーパーの野菜売り場の一角：鹿児島産だという早掘りのかわいらしいサイズのタケノコの側に、新潟や山形から届いたフキノトウやタラの芽が並び、その辺り一面、日が差しているかのように明るく、ちよつと季節の訪れを感じ、心が浮き立ちました。同窓生の皆様、如何お過ごしでしょうか。

本年度は、2年間コロナ禍で制約の多い学生生活であった事と思われませんが、大きな希望とともに、それぞれの道に進まれていらつしやる30名の新しい同窓生をお迎えしてのスタートです。

2021年度は、皆様ご存知のとおり、11月に総会がずれ込みましたが、皆様のご協力により無事開催されました。2022年度の総会は5月29日開催を予定しております。各回生、本年度も密を避けるために、原則幹事1名の参加

でお願い致しております。宜しくお願い致します。

2021年度より、同窓会も随分とIT化が進み、総会や役員会もZOOMを取り入れております。今後は、総会並びに役員会も紙を減らしつつ、デジタルの方向で進めていきたいと考えております。役員会も構成を少し変更し、「総務」を設け、学園、同窓生や役員との連絡、HPのチェック並びに更新などの庶務を一手に引き受けて頂くことと致します。さらに「サポーター」という位置付けで、役員、幹事を経験された同窓生の皆様方にお手伝いをお願い致したいと考えております。

学園バザーは残念ながら本年度も開催の予定はございません。昨年度の『アメリカ基金』の総額は489,380円、役員一同皆様方のたくさんのご支援を深く感謝致します。例年シスターがフィリピンを訪問される折に、募金を託しておりましたが、コロナ禍の中、シスターのフィリピンへの渡航が難しいため、本年度は送金の方向で、皆様のご支援をフィリピンの子供たちに届けようと考えております。又今年度も会報とともに『アメリカ基金』の募金用紙を同封させて頂いております。さらなる温かいご支援宜しくお願い致します。『アメリカ基金』

理事長挨拶 平和の原動力 としての教育



学校法人 愛徳学園
理事長
Sr. 上田 遥子

暖かな春の日ざしがなによりうれしい季節となりました。校庭の桜の花も新入生を迎え美しく咲き乱れています。入園・入学おめでとうございました。皆様をお迎えできたことをとても嬉しく思います。今年こそ、コロナウイルスが終息しマスク無しの学園生活を送られることを心より願っています。

世界に目を向けますと、この原稿を書いている現在、ウクライナで日増しに激しくなる戦闘に世界中が心を痛めています。幼い男の子が片手に縫いぐるみとチョコレートを持ち、一人泣きながら地面を見つめつつ逃げる姿に涙しました。いつも一番犠牲になるのは子供たちです。子供たちの未来を奪ってはいけません。彼らはどれほど傷ついて成長していくのでしょうか。

教育フランススコは、近年、教育のための予算は、投資でなく費用とみなされ、世界的に大幅に削減され軍事費が増強されています。しかし教育は、全人的発展の第一の場です。人間をより自由で責任あるものにし、平和の擁護と推進のために不可欠なものです。

言い換えると、教育は、希望、富、進歩を生み出す可能な、まとまりのある市民社会の礎なのです。」と訴え、「友愛を中心とし、かつ人間とその環境との間の契約を中心に据え、平和的、発展的、持続可能な文化モデルに従った、インテグラルエコロジー教育を促進する」と呼びかけました。本校の設立母体である愛徳カルメル修道会も、聖女ホアキナの「愛による教育」を柱とし、インテグラルエコロジー教育、つまり、誰一人取り残されることなく、あらゆる場で一人一人が、そしてすべてのいのちが大切にされる教育が推進されるよう、本校を含む各国の教育事業体で実現するよう、オンラインでの研修会など様々な取り組みを行っています。より平和で豊かな未来を築くために「自ら考え、人に奉仕し、充実した人生を歩む女性」を育む教育に教職員一同励んで参ります。

小中高校長挨拶

コロナ禍での愛徳教育



小中高校長
宮内 健一先生

前年に続き、コロナウイルス感染症予防対策を行う中での始業式・入学式から令和3年度が始まりました。その後も緊急事態宣言の発令やまん延防止重点措置が取られるなど、常にコロナ禍の中での活動となり緊張が解ける日は皆無でした。

その様な中でも、小学校では「仲良く楽しく学べる学校生活」を基礎に、一人ひとりの個性に合わせて、学力や生活力を効果的に伸ばす教育に取り組んできました。コロナ禍での活動であっても、それぞれの学年が工夫を行いながら学習成果を修め、児童達の楽しく学ぶ姿を授業の中でも見ることが出来るようになりました。その例として、昨年度の体育大会は、神戸グリーンアリーナの大きな体育館を利用し、小学校と中学校・高等学校を午前と午後に分けて無観客で実施しました。小学校では高学年が低学年をリードし、仲良く温かいスポーツフェスティバルとなりました。また、音楽会も感染予防のため学習発表会に替えて実施しました。そして、このような行事では保護者の方はオンラインでの参加とさせて頂いたが、確かな学力と豊かな人間力を高める取り組みの一端をご覧になつていただけるように取り組んで参りました。

また、中学校・高等学校では、教育ビジョンとして「自ら考え 人に奉仕し 充実した人生を歩む女性」を育成することを目標として取り組んでいます。しかし、生徒達が社会人となって活躍する時代は先行きが不透明で、将来の見通しが困難な状態になると予測されています。その様な不確定な時代に対応するための力を生徒達が身に付けるために、将来に必要とされる7つの力(粘り強く取り組む体力・忍耐力、思考力、コミュニケーション力、英語力、問題発見・解決力、異文化理解力、プレゼンテーション力)を育成するためのプログラムが、この愛徳学園独自の「Rainbow Program」で教育の中心に位置づけられるものです。これを各行事や授業の中で常に意識させて取り組んで来ました。その成果として、3月に行つた中学校・高等学校での生徒アンケート結果では、「Rainbow Programは役に立つ」と答えている生徒が、中学生では91%、高校生では95%(高3は100%)が目標意識を持って学習することが出来たようでした。そして、「愛徳学園の生徒であることに誇りを持って」と答えた生徒は93%(高3は100%)で、愛徳学園での学びによって自己の成長を評価すると共に、将来への自信を実感している様子がアンケート結果から窺うことが出来ました。令和4年度の愛徳学園では、児童・生徒達が「愛にあふれた豊かな笑顔」で満たされる教育をさらに高めて参りますので、今後とも同窓会の皆様のご支援とご協力をお願いいたします。



Todo Por Amor



Todo por amor, nada por fuerza

恩師だより



Sr.三好 紘子

人類への手紙」と題して非常に興味深いことを言っています。一部紹介したいと思います。

地球はつぶやいたけど、あなたには聞こえなかった

地球は話したけれど、あなたは聞かなかった

地球は叫んだけれど、あなたは聞くことを拒んだ

わたしはあなたを罰するために生まれたのではない……

わたしはあなたの目を覚ますために生まれた……

地球は助けを求めて叫んだ

大規模な洪水 でもあなたは聞かなかった

厳酷な火災 でもあなたは聞かなかった

猛烈なハリケーン でもあなたは聞かなかった

恐ろしい竜巻 でもあなたは聞かなかった

「すること」ではなく「なること」の大切さを言っているのだから。確かに、自分が幸福になったとしても、それに値するものでなければ周囲も、また自身も幸せに導くことはできないであろう。

ピアノ・リーチという人が、「コロナウイルスから

り振り返るべきではないかと思いましたが。なんと聞くに疎い私達ではないでしょうか？

大自然は、人間がいかに生きるかを語りかけています。しかし人間の傲慢さはそれに耳を傾けることをせず、「あなたはただ自分が生き残れるか心配しているだけだ」とのコロナからの声に心が痛みます。

人間が人間として、人の言葉に（起こるべくして起きた災害にも）耳を傾け、その奥にある真実に気づいていきたいと思えます。大自然の営み、そこに住む生きとし生けるもの（ゴキブリはかきまわりますが）、悲しむ人、苦しんでいる人から寄り添える思いやりのある人でありたいと思えます。どのよう小さなことでも私を必要としている方々の声を聴き洩らさない心のデリケートさを持ちたいと思えます。その日々の努力こそが人を幸福に導く所以ではないかと思っています。人と人のつながりという連帯の中でお互い助け合い励まし合って、人も私も幸せになる道を日々歩んでいけたらと願っています。



宇加谷 幸子 先生

皆さま、お久しぶりです。お元気ですか、下関便りです。

東に串崎城趾の関見台 正面に藩主居館跡の県立 豊浦高校

西は山城の山、日頼寺 東西まっすぐに白堀が走り、手前に運動場

そして眼下に畑 日の出から日の入まで一望の中に居ます。

今朝は金星と下弦の月を愛でましたよ。 日々野球部サッカー部陸上部の若者たちから気をもらっています。

蕨の波のない光景で地球の自転に身を委ねている安らぎは至福です。 畑の耕作は18坪。プロットコリ、セロリ、冬野菜7種は自給。ニンニク、タマネギ、4種は冬越中。10株もないフジバカマに昨秋、マサギマダラ飛翔を2度目撃！周りの果木や山菜も嬉しいお世話です。

このところの悪天候で、今日のゴルフと明日の観察会は延期。花のない冬場、シダが面白い。近場の山塊（火の山と霊鷲山）では34種同定。鳥の方も渡りのルー卜なので、山も水辺も一期



関門海峡ヒヨドリ渡り

2021.10.10

一会満載です。 とび回っていた調査や花旅がなくなり、地元の自然とゆっくりじっくり付き合えることになり本望です。 新しい試みはオカリナ2年。先日の発表会では「ゴンドラの唄」と「遙かな友へ」でした。 年始の卒業生の便りに「愛徳がなつかしくてたまりません」の一筆。 建学の魂、Sr.掘井の、母の心「おすすめ」Sr.樋口の、慈愛の「厳しい躰」は朽ちぬ金字塔です。「美しい」女子生徒の園でした。 私、今年喜寿を迎えます。御迷惑をかけたことと頑張ったこと五分五分の十字架を負っています。 むつかしい世になっています。 皆さまどうぞ 生き抜いて下さい。

五十八回生 入会のご挨拶

この度、同窓会に入会させて頂きました。 五十八回生三十名です。 私達は何事にも一生懸命で団結力のある学年です。 分からないことばかりで

すが、愛徳学園で学んだ奉仕の心を生かし、同窓会会員としてこれから精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



恩師のご本紹介

『Fluo de Vivo 生命の流れ』 田淵 八州雄先生

愛徳学園同窓生の皆さん、こんにちは！コロナ禍の中いかがお過ごしでしょうか。2021年4月にご縁があった5年ぶりに講師として学園に復帰しました。このブランクの間に教室環境が変わっていました。生徒各人はタブレットを持っていません。教室では、黒板、チョークに加えてタブレット、スクリーン、電子ペン、ロイコなどを使います。そんな中で私は「浦島太郎」のような自分を感じていました。YOU TUBE動画がうまく映らない時に高3の生徒が助けてくれました。愛徳生の本質的なもの（人に対する思いやり）は変わっていないと思いきや嬉しかったです。

同窓会の役員の方から「コロナ禍の中に出版した拙著の紹介をする機会を頂きました。以下に紹介させていただきます。」

わたしの出した一冊の本
田淵八州雄

『Fluo de Vivo 生命の流れ』

(一) 出版の動機

この本の出版動機は2つある。一つは、コロナ禍の2020年3月の志村けん、岡江久美子両氏のはかない逝去である。家族が病院に見舞うこと



もままならず、遺骨のみ帰ってくるという異常さ、生命のほかなさを思った。自分もいつ何時、向こうの世界に行くかもしれない！その時に、この世に何かしら自分の生きた証しを残しておきたいと願った。二つ目は、母校、神戸外大の学生時代にエスペラントを学び始めてから半世紀が過ぎた。そのエスペラントとしての人生の軌跡をまとめたと思った。

(二) 本の構成

第一部はエス文である。エッセー、出会ったエスペランティスト、旅行記、イスラエル・パレスチナ中東和平プロジェクト通訳体験記、世界大会・分科会での講話を収めている。第二部は日本語である。エッセー①生命の流れ②コロナ禍を生きる③内外のエスペランティストとの出会い④海外（韓国、ポーランド、ブラジル）への旅行記が入っている。第三部はエス文で、2020年の第107回エスペラント名古屋大会での大会講義（英語教育をどのようにエス語指導に活用するか）である。

(三) 執筆中に再認識したこと

①エッセー「コロナ禍の今を生きる」：コロナ前はマスク無しで普通に対面して話せた。バスや電車に乗り吊革をつかむことができた。気ままにあちこちと旅ができた。当たり前の日常生活が何と有難かったということとを改めて感じた。

②出会ったエスペランティストの章でRoman Dobrynski、Erika 夫妻を紹介している。第2次大



戦後ポーランド人のRomanさんとドイツ人のErikaさんがエス語を通じて出会い、愛を育み、結婚してエスペラントを話す家庭を持った。残念なことにErikaさんは2020年の春に病気で亡くなられたが、生前Romanさんに「私がいなくなっても、泣かず、トラウマにとらわれることなく、いつも明るかった私を思い出してね。笑いのない日は失われた日よ！」という言葉を残しておられた。このドイツとポーランドという国の戦後の国民感情が好ましくはない時期にエス語を通じて相互の愛を培った、このエス語こそ愛と友好平和をもたらす言葉だと感じた。

PS…もしよろしければ、在庫が50部あります。日本語で書いている箇所もあります。興味があればありましたら贈呈させていただきますのでご連絡下さい。(Email: yas8eun@yahoo.co.jp)



『旅の序章』・『聖五月』

善本 信宏先生

一昨年夏に小説集『旅の序章』、句集『聖五月』を上梓しました。ひとつは二十代前半から四十年間関係した文芸誌『革』に発表したもの、もうひとつは愛徳学園退職を機に入会した俳句結社「六花」に発表したものをまとめたものです。幸いにも拙著が幾つかの新聞に取り上げられました。(写真参照)

還暦を過ぎ、我がライフワークたる文学表現活動に専念できる幸せを思うとともに、貴重な青春の一時期を共にしてくださった愛徳学園卒業生の皆さんとのいろいろな思い出に中腸を熱うするところです。

私も今年で六十五歳、まだまだ



だ元気なつもりですが、一方でいつどうなるもおかしうはない年齢。残された人生がたっぷりというわけにはいきませんが、精一杯「いのち余さず」(波郷) 歩んでいきたいと考えております。皆さんのご清栄、ご活躍を心より祈念申し上げます。

2022.3.3



『学校ICTサポートブック』 米田 俊彦先生

はじめましての方、ずいぶんお久しぶりの方やつい先日という方まで卒業生の皆様、お変わりございませんか。私は、おかげさまで元気になっております。さて、最近の学校に関するニュースの中で、「GIGAスクール構想」や「ICT」という言葉がよく聞かれ、これは何だろうと思っただけじゃありませんか。さらにはお子様やお孫様、姪子様さらには近所や知り合いのお子様や学校からタブレット端末やパソコンを持って帰って来たり、授業で使っていると聞きになり驚かれています。

「GIGAスクール構想」は生徒一人ひとりがデジタル端末を使える環境を実現し、教育の中で活用していくという国の政策で、特に、この度のコロナ禍で学びを止めないための重要なインフラということで、2021年度一気に進められました。

「ICT」という言葉は、information communication technologyの略で、情報を送り手と受け手の間で双方向にやり取りする技術のことです。具体的にはスマートフォンなどのSNSなどもその一つで、すでに皆様もお使いのことと思います。

愛徳学園では皆様を受け継ぎ、大切にして来られたカトリック、女子校、少人数制を大切にしつつ、将来を見据え「自ら学び、人に奉仕し、充実した人生を歩む女性を育てる」というスクールビジョンを掲げ、「一人ひとりを大切に」する教育を実現するためにRainbow Programをはじめ様々な取り組みを行っています。その中で、2015年からタブレット端末(iPad)を導入し、現在生徒一人1台の環境で教育活動を行っています。

こんな私も50歳のころiPadと出会い、うるたえ、戸惑いながら使い始めました。そ

の中で全国各地の先生方と交流する機会があり、これまでの経験がこれから初めてICTと出会う先生の手助けになり、ひいては児童・生徒の学びにつながるのではということ、比較的にICTから遠い年代の一人として本作りに参加し、昨年8月に学事出版から出版しました。

これまで本は読むものと思っただけでしたが、本を作るといふことを通じて、さまざまな立場の方と出会い、プロの編集者の方やICTに取り組み全国の教員の思いに直接触れることができ、多くの学びと気づきがありました。この経験をぜひ授業に生かしていければと思っております。

本のタイトルには、「学校ICT」と入っておりますが、仕事でICTを使わなければならないものや、子供が使っているものや何なのか知りたいという時にもお読みいただける内容になっているかと存じます。

ICTを通して人と人を繋ぎたいという思いで作った本ですので、きっと何かしらお役に立てるのではと思います。大きな書店にしかないかもしれませんが、amazonでもご覧いただけます。今私の姿もどこかに出て参ります。お時間がありましたらぜひ一度ご覧くださいませ。

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたしております。

垂水や舞子にお越しの際は学園にも是非お立ち寄りください。愛徳坂からの懐かしいあの風景ともにお待ち申し上げます。



同窓生だより

英国より

ユミコ オオタケ John (25回生)

ここ数週間少しずつ朝が明るくなり、小鳥のさえずりが聞こえるようになってきました。スノードロップ、クロッカス、スイセンなどの花がこここで咲き始め、英国の長く暗い冬が終わりに近づいていることを告げてくれます。そして、私が大好きな春がすぐそこまで来ています。卒業生の皆様お元気ですか？

当初はすぐに収まるだろうと楽観視していたコロナのパンデミックが始まったのがちょうど2年前の今頃でした。灰色の冬がやっと終わり、早春の柔らかな日差しを受け黄色、白、紫、ピンクのカラフルな花々に彩られ始めた風景と逆行するように、日常生活に暗雲が立ち込めました。英国では3度ロックダウンが敷かれ、中でも最初のロックダウンは、食料品および医薬品の買い物と1日1度のエクササイズ以外の外出は禁止という厳しいものでした。学校の授業もオンラインとなり、皆が不安に押しつぶされそうになりながら、重苦しい気持ちで毎日を過ごしていました。



生まれ、親鳥に守られて少しずつ成長し、そして数か月後には巣立っていく様子を毎日のように見守ることは、コロナ禍で息の詰まる重苦しい日々に大きな喜びを与えてくれました。森の中を歩いていると、どこからかキツツキが木をつついて音響してきます。ロンドン中心部ではこうはいきませんが、概して英国では自然が大切に保全され、私の家の周りだけではなく、英国全土で、土地の所有権とは無関係に誰でも歩けるfoot pathという道が整備されています。全長24万キロ(地球6周分!)にわたるFoot pathが毛細血管のように国中を網羅しているのが、英国がウォーキング大国と呼ばれる所以でしょう。英国人の多くは、休日になると家族や友人と連れ立ってウォーキングに出かけますが、雨が多いイギリスですが、雨でもウォーキングに欠かせない言い訳にはなりません。英国には、「There is no such thing as bad weather, just bad clothing」という言い回しがあります。「天気が悪いのではなく、服装が悪いのだ」という意味です。私は初めは雨の中



を傘なしで歩くのには抵抗があったのですが、在英歴25年となった今では英国人を見習って防水コート、防水ズボンを着て、傘をささずに歩くようになりまし。見慣れた景色も雨の日には違って見えたりするので。特に湖は、澄んだ青い空の下とは異なり、灰色がかかった水面は少し寂しげだけれども、風景としては美しさが増すような気がします。湖の端っこの木の下で雨宿りをしている水鳥達もよりいとおしく思え、いつもより多めにエサをやります。このような自然とのかかわりがどれほど心を癒してくれるかに気付いたことは、パンデミックから得た最大の教訓の一つと言えるかもしれません。年齢を重ねたせいもあるかもしれませんが、人間が人間らしく生きるために、自然と近くにいることがどれほど大切な改めて感じています。ワクチン接種が進んでいる英国では、コロナとの共生路線がとられ、2月下旬にはコロナに関するすべての規制が撤廃されました。「パンデミックは終わった」という英国人の言葉が撤回される必要がないことを祈るばかりです。そして、美しい散歩道の多いこの国に長く住める幸せをかみしめ、日本とは違った種類の豊かさを経験できていることに日々感謝しながら、これからも歩き続けたいと思います。

同窓生のお店紹介

エステティックサロン Heart Shape

愛徳学園同窓生の皆さま、こんにちは！
23回生の矢頭麻子(旧姓 草鹿)です。
私は今、須磨区でエステサロンをしています。20年前にエステシヤンの資格を取得し、15年前にエステサロンをオープンしました。
2人の男児を育てながら、楽しみ、時にもがきつつ両立してきました。
最近エステスクールも開校し、お仕事の幅を広げながら、自分の時間も大切にマイペースで進めております。
エステは「愛」と感じていて、愛徳の同窓会に参加した時、シスター掘井に「和顔愛語」という言葉を教わって以来、その言葉をいつも念頭に置きながらお客様に接しています。
毎日神様にお祈りすることも習慣になっていて、私という人間の基本は愛徳の教えだと思っています。
愛徳に通わせてくれた両親、わが子を育てるように大切に接して下さった先生方、優しくて面白い同級生のみんな、楽しかったバスケットボール部の先輩、後輩、仲間達との出会いに本当に感謝しています。
ノーファンデーションを目指す肌質改善専門店なので、シミやしわ、タルミといったお肌の悩みが気になる方、または、エステで癒されたい方は、どうぞご利用ください。
合言葉は「愛徳割りで♪」とお伝えください。アイトク「¥1(アイ)10(ト)9(ク)」¥1,109」で体験コースをご予約できますよ♪お肌に合うコースをこちらでカスタムしますね。



エステティックサロン Heart Shape

場所
神戸市須磨区
※場所はお訪ねの際お伝えします。

営業時間
火～土 9:30～17:00 (最終受付15:30)
完全予約制

公式ライン zvu6747i
HP <https://heart-shape.com/>
mail esheartshape@yahoo.co.jp

矢頭麻子



葵屋呉服店



同窓会の皆様こんにちは。
8回生卒業の横幕直美(旧姓 北原)でございます。
早いもので、卒業して50年になります。
20才で葵屋呉服店に嫁ぎ、今日まで販売、着付けに努めて参りました。現在自宅にて、エステも開業しております。

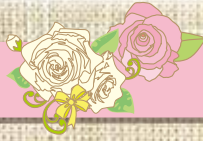
6年前に異業種交流会にも参加し活動致しております。
又、着付けに関するご相談、着付け(ヘアセット込み)など、お役に立てる事がございましたら、お声かけ下さいませ。
コロナ終息を願い、皆様のご健康をお祈り致します。

葵屋呉服店
〒662-0864 西宮市越水町7-8
TEL:0798-36-5298 080-8891-0694

横幕直美



アメリカ基金



2019年の会報より同封させて頂いております
“アメリカ基金”

Sr.アメリカ ディアス…初期の世代にはとても懐かしいお名前です、すぐにお姿を思い浮かべることができますが、回生を追うごとに馴染みのないお名前でもあります。

約60年前、Sr.アメリカは26歳で日本の土を踏まれ、その後19年間、45歳でフィリピンに渡られるまで愛徳学園での教育活動に青春の殆どの時間を、ここ神戸の地で費やされました。学園の校長様、スペイン語の教師として私たち生徒にたくさんの愛情を惜しみなく注いで下さいました。

2010年、Sr.アメリカが一度日本に帰国されました折、同窓会役員がお目にかかり、フィリピンでの活動現状を伺ったのが“アメリカ基金”のスタートに繋がっている次第です。

フィリピンのマニラ、“Lady's Home Residence”では、親のいない子、貧しさのあまり捨てられた子や学校に通えない子、山奥に実家があり通学できない子…とても貧しい子供たちのお世話や手助けをされています。

又、必要とあらば山奥であっても駆けつけ、そこでお世話をされ

たりすることもあるそうです。そんな子供たちの笑顔が少しでも増えることを願って、卒業生の私共に何かお手伝いできることがあればと思い、その当時の有志で募金を募りSr.アメリカに手渡しました。Sr.アメリカとお別れするおり、『いつまでもサポートして下さいね!!』と、何度も何度も頭を下げられました。

終わりのない貧困の中に身を置かざるを得ない子供たちのために、急遽Sr.アメリカ ディアスのお名前で“アメリカ基金”を立ち上げました。最初は各回生で時折り開催されるクラス会での募金のお願い、バザーの売り上げの一部を、その時の約束を忘れずに小さなお手伝いとして続け、今に至っております。

以上のような背景のもと、“アメリカ基金”とネーミングさせて頂いた次第です。

2019年からは総会で幹事の皆様方の賛同も得、会報に“アメリカ基金”ご協力の郵便振替用紙を同封させて頂き、広く同窓生の皆様方からご支援いただき、皆様方のお気持ちを届けております。

同窓生の方々の心よりのご支援、今後とも宜しくお願い致します。



2021年度 アメリカ基金 報告 (郵便振込金)



	(円)
アメリカ基金	485,380
募金箱	4,000
合計	489,380

会報に同封させて頂いた振込用紙での各ご寄付金合計を上記ご報告致します。

アメリカ基金は振込金485,380円に募金箱へのご寄付金4,000円を合わせて合計489,380円をフィリピンの愛徳カルメル会ベドウルナ財団に寄付致します。

なお、今年度の郵便振込みでのご寄付は3月24日に締め切らせて頂きました。皆様からたくさんのお心遣いを頂き、心より感謝致します。

2022年3月24日

愛徳学園同窓会 会長 石井アイリーニ・トクコ
会計 長田 純子

記

昨年度、皆様よりお寄せ頂きましたアメリカ基金へのご支援は諸事情により、未だフィリピンへお届けできておりません。

同窓会にて大切に保管の上、必ずお届けいたします。

皆様の温かいお心に感謝いたします。

新成人 ご挨拶

私たち、五十六回生は一月十日に成人式を迎えました。一月八日に、神戸にあるホテルにて同窓会を開催いたしました。当日はとても良い天気でした。さすがに華やかで綺麗になった同級生の姿が新鮮でした。卒業して二年ぶりの同級生と会い、学園での思い出話や近況報告などを話していると懐かしさを感じられ、そしてこれからまた頑張ろうと思うことができました。

残念ながら先生方のご都合が合わずお会いすることはできませんでしたが、先生方からビデオメッセージを、シスター能美からお手紙をいただきとても盛り上がりました。五十六回生全員が揃うことはできませんでしたが、久しぶりに大好きな仲間と会うことができるとても良い日となりました。

五十六回生幹事

穴見 花菜
大八木 涼菜



愛徳学園小・中・高等学校の取り組み

小学校

(詳細については学園 Web ページをご覧ください)

中学校
高等学校

● 心の教育

“他者を思いやる心” “他者を大切に作る心”を育てる活動
〈あいとくSMILE Project〉

美しい立ち居振る舞い、言葉遣い、基本的なマナーの中にある“他者への思いやりの心”に目を向け、子ども達一人一人が主体となって、学園から笑顔の輪を広げていく活動を実施。

〈グローバル教育 ～もう一人の友達運動～〉

高学年を中心に集めた献金を送り、チャイルドスポンサーとして、貧しい世界の子ども達を支援。

● 愛徳の学び

～ 12年一貫の学習指導と全人教育～

小学校の「3つの力」と中高の「7つの力」を育む

校訓「気高く 強く 愛深く」をもとに、未来につながる「考える力」「伝える力」「やりぬく力」を育成します。全ての学習の土台となる基礎基本、「計算の技能」「読む・聞く力」「書く・話す力」を育成しています。しっかりとした学力の土台の上に、学びに向かう力である「探求心」を育てます。

● 英語教育

(発音のスキル向上、コミュニケーション能力の育成、読み書きスキルの向上)

将来世界で活躍するために必要な自分の考えを持ち、自分の言葉で伝えることができる人を育成します。

- ・週4時間、年間140時間の英語学習。6年間で四技能（読む・聞く・書く・話す）をバランスよく育む。
- ・オールイングリッシュの学習環境の中、母語と同じプロセスで自然に英語が身につくカリキュラム
- ・発達段階に応じた英語教育

● 「Rainbow Program」

本校独自のライフキャリア教育

IT関係技術の急激な進化により、生活様式の変化や価値観の多様化、また社会情勢が不安定になる中、未知の状況に対応できる力として、思考力・問題発見解決力・プレゼンテーション力、そしてそれをやり遂げるための体力と忍耐力が必要とされます。また、グローバル化が一層進展していくこれからの社会で活躍するためには、豊かな英語力やコミュニケーション力、異文化理解力が求められています。これら未来の社会で必要とされる力は、全て「Rainbow Program」の取り組みの中で身につくようになっていきます。

● 「英語教育」

- ・グローバル社会の中で活用できる豊かな英語力が身につく教材「PROGRESS IN ENGLISH 21」を中学で採用
- ・英語を活用する機会が多数（Global Festival、Lunch Time English、English Camp、海外とのオンラインセッションなど）
- ・オーストラリア海外研修の実施（希望者対象）

● 「ICT（情報通信技術）教育」

- ・タブレット端末を使った授業（プレゼンテーション、アクティブラーニング、外部機関とのオンラインセッション）
- ・AI型タブレット教材「Qubena」を使った効率的な学習など、よりよい学びができる利活用を実践

実践報告

第4回 Global Festival（中高） 2021年12月15日実施

【第1部】レシテーション・スピーチコンテスト

レシテーションコンテストでは中1、中2の5名が、グレッタ・トゥーンベリ氏のスピーチを暗誦しました。スピーチコンテストでは中3～高2の各学年代表2名が、SDGsをテーマにしたスピーチを行い、貧困や水、ジェンダーの問題など、それぞれの視点から、自分たちがどのようにアプローチするのかについて考えを述べました。



【第2部】高2、高3「Global Studies」受講者による発表

高2は「ファストファッションの製品を生産している縫製工場の劣悪な労働環境について、誰に責任があるのか」というテーマで、この問題に関わる立場の人になり、模擬裁判を行いました。

高3は、これまでの学びを基に、「世界の紛争や対立」をテーマにしたグループプレゼンテーションを行いました。



【オンラインセッション】

台北にある「Dominican International School Taipei」の生徒会のメンバーと本校の全校委員2名がお互いの学校を紹介しました。2022年度からは愛徳学園とDIS Taipeiの授業交流を計画しています。将来的には、お互いの学校を訪問できるようにしていきたいと考えています。



Todo por amor, nada por fuerza.

かづくでより 愛による方が 多くを勝ち得ます

ホアキナ・デ・ベドゥルナ



役員会より

1.

名前や住所の変更は同窓会のホームページの『住所／名前 変更申請』より行ってください。名前・住所の管理は、株式会社サルト様へ委託しておりますので、同窓会では都度の把握はいたしておりません。正副幹事の方に関する変更につきましては、同じくホームページの『正副幹事交代申請』からも併せてお願いいたします。

2.

訃報につきましては、幹事の方は必要に応じて、同窓会まで連絡をお願いします。恩師等の訃報に関しては、同窓会ホームページに記載すると共に、可能な範囲で同窓会より幹事の方へお知らせいたします。

3.

同窓会には電話はございません。学園への電話連絡はお控えください。また同窓会からお電話をすることはございません。同窓会から幹事の方への個々のお知らせにはEメールを利用してまいります。幹事の方は連絡の取れるメールアドレスを同窓会までお知らせください。

4.

同窓会へのご連絡、同窓会からのお知らせ等、ホームページよりお願いいたします。ホームページは「愛徳学園同窓会」で検索できます。

5.

同窓生名簿の貸し出し及び印刷は一切行っておりません。閲覧は正副幹事の方のみ、同窓会室にて役員同席のもと、可能です。事前に同窓会までお問合せください。

6.

会報には、会報以外の印刷物の同封が可能です。サイズは長3封筒に入る大きさの物までです。そのまま同封できる状態でご準備ください。封入にかかる費用はご負担頂きますのでご了承ください。(ハガキ・封書など形態にかかわらず1部/1円:株式会社サルトに準ずる)
*同封希望の際は、必ず事前に同窓会へご連絡ください。

幹事代表連絡先
岡本真知子(4回生)
042-1324-1186
お気軽にご連絡ください

幹事一同
皆さまとお会いできる日を
楽しみにしております。

お過ごしでしょうか?
2年に1回開催されて来た
東京OG会ですが、なかなかコ
ロナが収束せず、残念に思っ
ております。
関東方面の同窓生も、200
名近くおられるようです。
来年あたりには開催でき
たら、準備も進めております。
会報にて、又お知らせ予定
でございます。

愛徳学園 東京OG会便り

2022年度 愛徳学園小・中学校 入試関係行事

〈中学校〉

説明会

6月11日(土)	第1回 学校説明会
7月30日(土)	オープンスクール
10月22日(土)	第2回 学校説明会
11月6日(日)	第1回 中学入試説明会(プレテスト)
11月19日(土)	第2回 中学入試説明会(プレテスト解説)

公開行事

6月18日(土)	合唱コンクール
11月2日(水)	学園祭
12月14日(水)	Global Festival
12月16日(金)	クリスマスの集い
・学校見学会は、随時受け付けています。	
・夏休み特別体験プログラム(星空教室、読書感想文教室など)予定しています。	
※新型コロナウイルス感染症等の影響により、イベントスケジュールが変更になる場合があります。	

入学試験

※詳細は、8月にWebページで募集要項を公開いたします。

〈小学校〉

5月14日(土)	学校説明会	11月17日(木)	学校説明会・
7月16日(土)	学校説明会		オープンスクール
8月2日(火)	ワークショップ	12月17日(土)	C日程入試
8月27日(土)	学校説明会	12月17日(土)PM	クリスマス会
9月10日(土)	A日程入試	2023年	
10月22日(土)	B日程入試	1月14日(土)	D日程入試

2021年度 58回生合格状況 ()内の数字は既卒生の数です。

国公立大		神戸常盤大	1
岡山大	1 (1)	姫路大	1
私立大		姫路獨協大	1
昭和女子大	1	兵庫大	1
日本大	1	甲南女子大	3
京都女子大	1	神戸海星女子学院大	1
同志社大	1	神戸松蔭女子学院大	1
立命館大	1 (1)	神戸女学院大	6 (1)
関西大	1	武庫川女子大	1
関西医科大	1 (1)	短大	
大阪工業大	1 (1)	武庫川女子短期大	1 (1)
大阪成蹊大	1	神戸教育短期大	1
摂南大	1 (1)	神戸女子短期大	1
畿央大	1	頌栄短期大	1
関西国際大	3	専門学校	
関西学院大	4	神戸ベルエール美容専門学校	1
甲南大	2 (1)	神戸製菓専門学校	1
神戸学院大	1	大阪アミューズメントメディア専門学校	1
神戸芸術工科大	1		



『神戸のふるさと納税』のサイトから、愛徳学園高等学校を選んで応援することができます。同窓会のHPからのご案内しておりますので、是非ご一読ください。

2022年度 役員・各回生幹事

Table listing members and officers for 2022, organized by grade (1-12) and role (President, Vice President, etc.).

2022年度 役員

Table listing the 2022 Officers (役員) including President, Vice President, and various department heads.

2022年度 相談役

Table listing the 2022 Advisors (相談役).



2021年度 会計報告

自2021年4月1日～至2022年3月31日

Main financial report table showing income and expenditure details for 2021.

Summary table for 2021 financial report, comparing current and next year's figures.

上記の通り会計報告をいたします。

愛徳学園同窓会会長 石井アイリーニ・トクコ 会計 長田 純子

愛徳学園同窓会 2021年度会計報告並びに関係書類を監査した結果、正確かつ適正であることを確認いたしました。

2022年4月1日

愛徳学園同窓会 会計監査 山本 晃美 宰川 雅子

学園職員の退職・異動

－退職－

List of staff members who have retired, including Sr.テレシタ・アルバレス and others.

<小>

List of staff members who have moved, including 中橋 智先生 and others.

－異動－

List of staff members who have moved, including 佐々木 敬子 and others.

ご冥福をお祈り申し上げます

Obituary notice for 梶原 幸子先生 and other staff members.



聖書より

If one part is hurt, all parts share its pain. And if one part is honoured, all the parts share its joy. (1Corinthians 12:26)

一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜ぶのです。(コリント人への第一の手紙 12章26節)

あとがき

ようやく通常の暮らしに戻り始めた今日この頃。コロナ禍を経て、何気ない日常への感謝を益々感じています。

Contact information for Aitoku Gakuen Alumni Association, including phone, email, and website.

